

やいちゃん は シリタガリノ? お地蔵さまのエカ 星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第47号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
辻本 良明
〒857-0851
佐世保市稲荷町19番
10号 善隣寺内
TEL 0956-33-3334
FAX 0956-33-3338

一言説法

「よいことはよいことを引き出す」

薫修という仏教の言葉があります。

薫修とは、お香をたいていると薫りが着ている服にし

みこんで、まわりの人にも良い薫りが伝わるように、善

い行いを続ける人は、まわりの人にも伝わって、自然と

みんなが善い行いをするようになるということです。

良い薫りは四方に香ります。花の薫りは風に逆らって

は行かないけれども、善い人の香り、善い行いは風に逆

らつても香り、伝わるものです。

ほほえみはほほえみを呼ぶ春の風

という俳句があります。

自分が笑顔になったら、相手にも笑顔が伝わります。

まわりの人の笑顔を招きます。

良い影響を与えられるような人になりたいですね。

仏さまの 持ち物

「絹索」

絹索は「けんさく」ともいいます。

絹は鳥やけものをつなぐ縄、索は釣り糸のことです。つまり縄や釣り糸でけものや鳥を捕るように、人々を救い取

ることを表しています。

綱、ロープの使い方には二通りあります。悪い人を捕まえた時にしばったりすること。そしてもう一つは、おぼれたり落ちそうになっている人をつか

まらせて助けることです。

仏さまが絹索を持つ意味は、仏さまの教えが、人間の心をまどわす煩惱を

しぼり上げて、さとりを求める心を起

こさせることです。

絹索は五色より合わせ片方の端に金

属の輪（環といいますが）、もう片方に独鈷杵という槍のような法具をつけて

います。

絹索を持つ仏さまとして、千手観音や不空絹索観音、不動明王などがあげ

られます。

不空絹索観音は6本の手、3つの目を持ち、人々の願いを空しいものにしない観音さまです。左手に持つ絹索で

迷い悩める人々を救いとります。

また不動明王は不動さんと呼ばれ、火炎を背負い、目をむき歯を出した怒りの表情をしています。左手に絹索を持ち、いうことを聞かない者をしぼり

上げます。



不動明王



不空絹索観音



質問

お花屋さんでゴクラクチ
ヨウというきれいな花が
ありました。
極楽と何か関係があるの
ですか。

(宮城 小四 女子)



答え

ゴクラクチヨウは
漢字で極楽鳥と書き

ます。花の名前としては極楽
鳥花といえます。極楽にいる
鳥を思わせるような花を咲か
せることから、こう呼ばれま
す。茎の先の花が、鳥のオレ
ンジ色のくちばしのようなな
っているのが特徴です。

極楽鳥の正式な名前はスト
レリチアです。

極楽鳥はもともと南アフリ
カの原産で、日本には明治の
初めに渡来したそうです。オ

レンジ色のほか、黄色や紫色、
白い花もあります。

お経には、極楽世界に六種
類の鳥がすんでいると説かれ
ています。つまり白鵠・孔
雀・鸚鵡・舍利・迦陵頻伽・
共命の鳥の六つです。これら
の鳥は極楽で一日中美しい声
で鳴いているのです。

この六種類の鳥については
次回から紹介していく予定で
す。

質問

お坊さんはどうしておぼ
うさんというんですか。

(長崎 小学一年 男子)

答え

お坊さんの「坊」
は、お坊さんの住む

ところをあらわします。その
坊には名前がついています。
それでお坊さんと呼ぶときに
は、住んでいる坊の名前で呼
びました。たとえば山田坊と
いう坊があったとしましょう。
そこに住む僧侶（お坊さん）
を呼ぶときに、「山田坊さま」
という言い方をするのです。
やがて坊の名前はいわずに、
単に坊さんお坊さんと呼ぶよ
うになりました。

坊主という言葉があります。
これも坊の主（主人）という
意味で、お坊さんのことです。
今はあまりよい使い方はされ
ていません。なまぐさ坊主（な
まけ者の意味）、三日坊主
（長続きしないこと）などです。
男の子のことを、親しみを
こめて「坊や」「坊ちゃん」
と呼ぶことがあります。また
やんちゃ坊主（元気ないたず
らっ子）、わんぱく坊主など
の言い方もあります。

お坊さんは髪の毛の短い人、
またはつるつるの人が多くで
すが、髪の毛を短くかられた
頭を坊主頭といいます。お坊
さんの頭に似ているので、そ
う呼びます。

これも仏教の言葉だよ！

「超」チヨー！

テレビを見ていて面白い時にみなさんは「チヨウウケるんだけど」とか「チヨウ笑う」とか言ったりしませんか？

たぶん「最高に」とか「ものすごく」の意味あいで使っていると思うのですが…

実のところ「超」は仏教の言葉なんですよ。

仏さまの「完璧なさと」を表していて、比べる事ができないくらい完全であることの意味なんです。

私たちの世界では、なかなかイメージ出来ないかもしれませんが、例えば世界中の生きものがみんな幸せになる事で、そうなれば、だれも困る事も無いという考え方です。

仏さまの世界はそう強く願う心をもって実現しているのです。

分けへだてなく「超えたところ」が仏さまの「おさと」なのでしよう。

それこそ、今の時代では「超難しい」って言われるかもしれませんがね。



ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こずえ



今回のちがいがしは「ピクニック」。

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。

しめきりは5月15日です。

送り先

〒857-0851

佐世保市稲荷町19番10号

善隣寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334

FAX 0956-333-3338

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中のこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334 FAX 0956-333-3338

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぷくぷく編集室

アメリカ航空

宇宙局 (NASA)

A) は先日、地球から39光年離れた太陽系の外に、地球とよく似た惑星7つを発見したと発表しました。7つすべてに水が存在する可能性があるので。



恒星トラピスト1のまわりを、地球とほぼ同じ大きさの7つ惑星が周回しているのを宇宙望遠鏡で観測されたそうです。それらの惑星は岩石でできているとみられ、3つは気温など生命を育てるのに適した環境にあるそうです。

39光年という想像がつきにくいですね。1光年は光が1年かかって進む距離のことです。光の速さは1秒間に30万キロメートルなので、39光年は約9.5兆キロメートルになります。ますますわかりづらくなりました。

そんな遠い星に、私たちと同じ生物がいるかもしれないというのは夢のある話ですね。

NASAのザブッケン博士は「第2の地球を見つけるのは『もし』ではなく、『いつ』の話になってきている」と話しています。